にいみ 市議会だより

2026年11月
第35号

新見市議会広報紙　９月定例会



目次

② 特集 女性の視点から今を変え、新たなまちづくりを！～初の「女性議会」開催～
④ 各委員会報告
⑧ 12月定例会（予定）・賛否が分かれた議案等
⑨ 一般質問（個人質問）
⑮ 議員研修会を実施
⑯ 市民の声・編集後記

女性議会

『身近な声が、未来につながる』

～現場で語られる、暮らしの中の思い。
ともに考え、新見の明日へ～

議会が変われば　まちが変わる

特集

女性の視点から 今を変え、新たなまちづくりを！

～初の「女性議会」開催～



10月17日(土)、昨年の若者議会に続き、本年も新見市議会初となる「女性議会」を開催しました。開催に当たっては、市内から幅広い年齢層の９名の女性が名乗りを挙げてくれました。当日は、女性議員として、本市の厳しい現状や課題に対して、素晴らしい質問や提案をしていただきました。

新見市議会としては、女性ならではの視点に立った質問や提案に真摯に耳を傾け、未来に向けた魅力あるまちづくりや新たな社会の仕組みづくりに活かしていきたいと思います。

なお、今回の質問や提案は、議会内で十分検討し、女性議員それぞれの思いを施策に反映できるよう、しっかり対応していきます。

吉良（きら） 宏子（ひろこ）さん

①子どもの居場所としての環境作りに関して

②放課後児童クラブ支援員の確保について



梶原（かじはら） 洋子（ようこ）さん

①女性の声を『参加』から『意思決定』へつなげる仕組みについて

②仕事も農業も続けられる新見市について

③女性の力を地域活動で終わらせず、仕事や所得につなげる仕組みについて



女性議会　質問・提案

立花（たちばな）　久恵（ひさえ）さん

①市長、市議の選挙について
②名水の販売について
③山村留学の奨励について



鈴木（すずき）　晴子（はるこ）さん

①今年の『新見市観光地経営戦略策定』について



西村（にしむら）　ゆりさん

①子どもの居場所づくりについて
②幼児クラブの運営について



田中（たなか）　智恵美（ちえみ）さん

①ダブルケア世代を支える相談・支援体制について
②高齢者や難病患者などが安心して暮らせる住環境の整備について



原田（はらだ）　真理子（まりこ）さん

①暑い時期の子どもたちの居場所について
②住んでいる地域によって、子どもの体験に差をつくらないために
③学校再編後の施設を、新しい地域づくりにつなげることについて



林（はやし）　公子（ひろこ）さん

①観光消費の最大化に向けた「受け入れインフラ」について
②主要観光地の景観美化と観光資源の有効活用について
③市民が誇りを持てる「インナーブランディング」の確立と情報発信について



各委員会報告

総務消防常任委員会

民設民営化による情報通信高度化事業の概要と進捗状況は

8月27日、9月10日に本委員会を開催し、付託された条例1件について、執行部からの説明を聴き、質疑の結果、原案のとおり可決しました。質疑内容は、以下のとおりです。

報告事項について

委員問 **職員に対するカスタマーハラスメント対策基本方針の策定について、この基本方針が策定されることで判断がしやすくなると考えるが、庁内での受付窓口は、総務課になるのか。**

答弁 対応した担当課から総務課に連絡が入ることとしている。

調査事件について

委員問 **地域運営組織を推進する目的と期待する役割について、基本的な考え方と地域運営組織に対してのサポートの内容は。**

答弁 小規模多機能自治の考えのもと、意識の醸成、情報と目的意識の共有、協働による地域づくり、持続的に活動できる仕組みづくりの4つの方向性を掲げて、福祉、健康、防災などの地域ニーズに応じた様々な活動を展開している。

地域運営組織設立に向けた支援や地域運営組織ネットワーク会議の開催、県との連絡調整や研修機会を提供するため適宜情報提供を行っている。

委員問 **地域運営組織が広がっていくことについて、どのような期待をしているのか。**

答弁 地域の問題、課題について自発的に取り組んでいただきたいと考えており、丁寧に支援していきたい。

委員問 **市内全域の光ファイバー網を民設民営に切り替える情報通信高度化事業の進捗状況と今後のスケジュールは。**

答弁 NTT西日本が事業主体となって本年度から令和10年度にかけて、国の補助制度を活用し、整備が進められる。

新規の施設については、NTT西日本が主体となり、第1工区として令和8年から9年度にかけ北部・東部を整備する予定である。第2工区は9年度から10年度に南部・西部を整備する予定で、準備が整った地域からサービスを開始できるよう準備を進めている。

委員問 **これまでの光ファイバー網は使用せず、新たにNTT西日本が敷設をするということでよいか。**

答弁 NTT西日本が光ファイバーを敷設する。

委員意見 **民設民営になったときの料金はどのようになるのか気になるところだが、市民にとって良い料金体系ができるよう努力をしていただきたい。**

委員問 **告知放送、緊急通報はどのようになるのか。**

答弁 今後は、現在の通信サービスが提供できなくなり、まちナビ等の機能を進めている。また、高齢者等へわかりやすい情報伝達手法を現在検討している。

委員問 **3月の若者議会でも質問があったが、新見市のホームページは閲覧しやすいように改善されたのか。**

答弁 全面改正を行ってから9年が経過し、対応に向けた準備を進めている。



若者議会で市ホームページについて質問する高校生

文教福祉常任委員会

全国学力テスト結果を受け対策聞く

9月11日に本委員会を開き、付託の議案2件は執行部の説明を聴き、十分な質疑を行い、討論はなく、原案のとおり可決しました。

付託事件の審査

【議案の部】

付託2議案は、ともに国の法律改正に伴い、呼称名称を変更するものでした。

報告事項について

執行部からの9件の報告のうち、質疑が集中した2件を紹介します。

●令和8年度全国学力学習状況調査結果

本市の小6国語63％、算数56％、中3国語64％、数学51％、英語465～474の結果と、県及び全国の平均を公表し、小6算数が県平均を上回り、全国平均と本市得点の開きも前年度比、全学年科目で開きが縮まったと報告しました。

委員の「英語の点数が低い分析は」との質疑には、「本市は、小1や中1から次学年へのつなぎを改善できず、土台がない上に新たな学びを重ねている課題がある」と、取り組み中の対策とともに答弁しました。

「国語の書くことの弱さ克服対策」では、「ICT教育は効果も高く、子どもたちの学習意欲も高いが、偏ると、手を動かしながら学ぶことの乖離が懸念される。必要な場面でICT機器を活用し、紙とペンを使った基礎基本部分を大切にしていきたい」と答えました。

●放課後児童クラブ運営業務の公募型プロポーザル結果

来年1月から14クラブのうち希望9クラブについて、市が設置者となり、運営を民間事業者に委託するため、運営事業者を公募し、プロポーザルの結果、委託候補者に合同会社プラス・フィールド（高尾）を選定したと報告しました。

委員からは、選定事業者の特徴や選考理由、委託料の見込額、人材確保策などの質疑が相次ぎました。執行部は「選定事業者は、市内で放課後児童クラブを運営するこども・リパブリックとおおさ風の子児童クラブで構成している。市内のクラブを熟知しており、それぞれの活動を尊重し、自然体験を通じて郷土愛や地域参画意識を育みたい」との提案があった」「合同会社の現スタッフ11人を活用し、9クラブのシフトを臨機応変に組み人員不足を補う」などと説明しました。

調査事件について

委員問　関西方面への高速バス再運行の見込みを聞きたい。

答弁　令和2年10月から運休・路線休止している。昨年、事業者と協議したが、阪急バスが撤退し、備北バス単独では運行できない、とのことだった。県南事業者も高速から撤退している。

委員問　令和4年一般質問した「新見藩時代の治水利水に係る歴史資源の文化財指定」の経過と今後を聞きたい。

答弁　各方面から聞いている歴史資源は調査しやすいと感じているので、速やかに調査を始め、できるものは早目に登録等を進めたい。



間知石（けんちいし）の谷張りによる高梁川猿屋井堰（新見用水取水堰）

産業建設常任委員会

神郷温泉の経営状況を問う

9月14日に本委員会を開催し、報告事項及び調査事件の審査を行いました。

報告事項について

執行部から次のとおり報告がありました。

●新見市畜産共進会の結果について

第19回新見市畜産共進会が8月25日に開催されました。肉用牛25頭が出品され3部門5区で審査を行い、10月24日の第81回岡山県畜産共進会への出品牛の選抜も実施されました。

●リンドウドレス完成発表会が行われる

9月6日まなび広場で本市産リンドウを使用した生花ドレスの発表会が開催されました。公募で選ばれた新見公立大学生がモデルとなり、多くの報道関係者や一般来場者が撮影などを行い盛況でした。

●首都圏における新見市観光文化PR事業について

11月17日から25日まで「象の鼻テラス」（横浜市）で開催される市内出身の美術作家の展覧会に合わせて本市ブースの出展を行います。観光・特産品・ふるさと納税のPRと「森の芸術祭晴れの国・岡山2027」のPRと認知向上を図ります。

調査事件について

委員問　太池邸（内蔵）活用と民泊可能性についての考えは。

答弁　国登録有形文化財であるため、改装には配慮が必要である。事業者からの具体的提案を待ちつつ、文化財性と地域の合意を前提に改装や民泊活用の可能性を慎重に検討していきたい。

委員問　満奇洞進入路の整備とスロープカー（昇降機）の設置の現状と今後の見通しについては。

答弁　用地測量・ボーリング調査・農振除外申請・県新見地域事務所や公安委員会との協議を実施している。来年度は、大駐車場までの道路工事を発注し、「森芸2027」開幕までには間に合わせたい。

委員問　神郷温泉の今年度の実績について、本年度4月1日から8月31日までの営業日数は何日か。

答弁　施設全体としては111日であった。レジオネラ菌の検出に伴い4月27日から7月16日までの59日間とほか1日営業停止している。温泉棟の営業は51日であった。

委員問　8月25日の高濃度塩素事故はなぜ起きたか。

答弁　機器操作担当者が、操作習熟不足に加え内部連絡体制不備が背景にあった。今後はダブルチェック体制・情報共有強化を図りたいと考えている。

委員問　未使用施設は現在あるか。

答弁　サウナ等の温泉棟内の施設が未使用である。今後、グリーンミュージアム全体で個別に未使用施設があるかについて再調査を行い後日報告する。

委員問　本年度4月から7月までの経営状況はどうか。

答弁　営業収入は1354万3千円（4～7月）、経費として人件費は634万6千円（同期間）である。

委員意見　収入の約半分を人件費が占めている。また、前年度の修繕費として約400万円を投入している。今後下半期の営業でどう改善を図っていくのか、十分検討し、報告してもらいたい。



国の登録有形文化財に登録された太池邸

予算決算常任委員会

補正予算に附帯決議を付す

予算決算常任委員会を9月15日、16日、28日に開催し、付託された19議案を審査しました。

この内、15日には令和7年度新見市一般会計歳入歳出決算、8特別会計の歳入歳出決算及び水道及び下水道の事業会計未処分利益剰余金の処分案について審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

16日は、本年度の一般会計補正予算と7特別会計補正予算について慎重に審査しました。

不妊・不育症治療費助成事業、首都圏における新見市観光・文化PR事業、満奇洞周辺整備事業などを盛り込む8億2396万円の一般会計補正予算（第5号）の内、全世代交流型施設（市が借り上げている新見駅前の旧明洞）の修繕費100万円の計上について、今後の同施設の明確な利用計画が示されていないため同意できないとの反対討論がありました。また、行政からの依存体質から脱却し、収益事業を通じて自立的経営への転換を図るべき分岐点にある新見市観光協会への補助金200万円について、協会の収益を生み出す具体的活動や経営計画等の不十分さを指摘する意見が相次ぎました。

しかしながら、本議案は本市の今後を決める重要かつ緊急性のある事業が含まれた補正予算のため、賛成するとの討論もありました。採決の結果、賛成多数で原案可決とすることに決定しました。

なお、問題となった2事業については、予算執行を本委員会としての詳細調査が終了するまで凍結するとともに、全世代交流型施設及び新見市観光協会の今後の運営計画・経営計画等を示すよう求める附帯決議を付することを賛成多数で決定しました。

最終日の28日は、追加補正予算の審査を行いました。物価高騰対策として、一人親世帯（児童扶養手当対象者）への支援や農業分野（水稲・園芸・畜産）への支援、総額4620万円について、執行部の説明を聴取し、十分な質疑を行い、全会一致で原案のとおり可決しました。

質疑抜粋

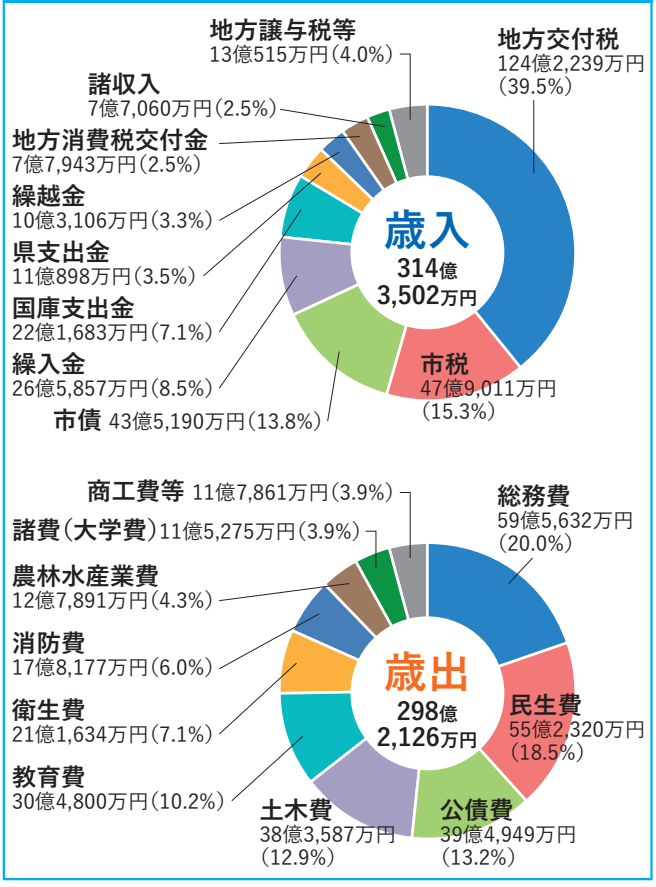
●決算第1号令和7年度新見市一般会計歳入歳出決算

委員問　地域運営組織の設置状況、及び一括交付金の活用状況は。

答弁　市として42地域での設立を目標にしているが、現状は25団体に止まった。一括交付金は、防犯や交通、福祉など各地域の諸課題解決への活用をお願いしている。

※　その他、寺子屋新見検定料助成金の実績、高校創生パワーアップ事業交付金の成果、避難所となる体育館の空調設備の整備見通し、再造林奨励金の成果、省エネ家電の支援事業補助金の実績など、多くの質疑がありました。

形式収支は16億1376万円の黒字



「予算第19号　令和８年度新見市一般会計補正予算(第５号)」に対する附帯決議

新見市観光協会事務所の２か所化のための７款商工費２項観光費200万円、全世代交流型施設整備のための３款民生費１項社会福祉費100万円について、本委員会の詳細調査が終了するまで、その予算の執行を凍結するとともに、次の事項を附帯決議する。

1　新見市観光協会のこれまでの委託事業の内容と結果を示すこと
2　新見市観光協会の自己資本比率を開示すること
3　新見市観光協会のこれからの人員計画及び職員の所掌事務・役割分担を明らかにすること
4　新見市観光協会の向こう５年間の経営計画を示すこと
5　新見市観光協会の「稼ぐ力」を具体的に示すこと
6　全世代交流型施設の活動や内容及び運営計画と地方自治法第244条の２の規定に基づく条例等を具体的に示すこと

12月定例会(予定)

11月27日(金)	12月3日(木)	4日(金)	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
本会議開会	本会議・一般質問	本会議・一般質問	本会議（予備日）	総務消防常任委員会	文教福祉常任委員会	産業建設常任委員会	予算決算常任委員会	JRローカル線利用促進・存続問題検討特別委員会 議会改革特別委員会	議会広報特別委員会	委員会（予備日）	議会運営委員会	本会議閉会

●賛否が分かれた議案等

種類	件名	付託先	結果	議員名													
				赤木 三郎	橋本 尚典	堀江 裕	谷本 浩章	木下 智義	林 司朗	峠田 一也	岡崎 裕生	古川 英明	宮本 英基	小河 俊文	津島 大孝	橋本 亨子	仲田 芳人
予算	令和８年度新見市一般会計補正予算（第５号）	予算決算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は採決に加わりません。

その他の議案については、全会一致で可決、認定、同意しました。
審議された全ての議案については、右の二次元コードからご覧ください。

執行部の考え問う

一般質問に
11人が登壇

橋本　亨子 議員	・新見市観光協会の来訪者受け入れ体制について ・市営斎場明月苑の改修について ・金谷土地区画整理事業について
木下　智義 議員	・上市小学校の通学路について ・民有地にある危険木の伐採について
林　　司朗 議員	・本市の災害対策について
峠田　一也 議員	・新見市の障がい者福祉の充実を図ろう ・新見市の農業を守ろう
赤木　三郎 議員	・ごみ処理について ・指定ごみ袋について
宮本　英基 議員	・限界集落・小規模集落における行政サービスの維持について ・市有財産の今後の在り方について
橋本　尚典 議員	・人口減少時代における本市の医療提供体制について
堀江　　裕 議員	・新見公立大学の学生防災士を活用した地域防災力の向上について ・子どもの歯と口腔の健康を守るフッ化物洗口の推進について ・人口減少社会における持続可能なまちづくりについて
仲田　芳人 議員	・「人を呼び込む子育てしやすい新見市づくり」について ・「二地域居住と山村留学に取り組もう」について ・「消費生活センターの５か月間とこれから」について ・「本市の組織的弱点の克服」について
小河　俊文 議員	・令和７年度定期監査結果を踏まえた行政事務の適正化について ・「新見市水道事業経営戦略」について
古川　英明 議員	・高齢者を対象とする施策の充実について ・岡山県立新見高等学校の将来に向けての市の支援について

＊色を付けている質問は内容を記事にしています。
＊掲載は質問順



橋本 亨子（はしもと きょうこ） 議員

日本共産党

観光協会に専用駐車場を整備

問 地域の魅力発信や周遊の促進などを担う観光協会の役割は重要。交流人口や関係人口拡大に向け、来訪者が十分に利用できるよう専用駐車場の整備が必要ではないか。

答 駐車場の確保は必要と考えており、協議をしながら近隣の駐車場の活用など前向きに検討していく。

明月苑に寺社関係者の控室とシャワー室を設置

問 市営斎場明月苑に寺社関係者の控室と利用者のためのシャワー付き浴室を造ることはできないか。

答 控室は今後利用の実態や状況を調査し、解決できる方向で検討する。浴室は簡易なシャワー設備であれば設置が可能と考えられるので設置に向け検討していきたい。

金谷土地区画整理事業の土地活用策は

問 換地計画の進捗状況は。

答 現在個別説明を行っており、令和9年度初めの仮換地指定に向け地権者全員に同意をいただくために丁寧に説明を行うこととしている。

問 区画整理後の土地活用として市営住宅の建設や市内3病院の統合先として検討できないか。

答 病院の統合先についても様々な検討をしていく必要があると考えているが基本的には病院側が決めることである。



新見駅前の駐車場



木下 智義（きのした ともよし） 議員

公明党

上市小学校の通学路の安全確保を

問 上市小学校の通学路を改めて調査しグリーンベルトと外側線を整備するとともに、注意喚起の看板や標識の設置をする考えはあるか。

答 児童、生徒の通学路の安全確保は重要なことと認識している。幼児、児童、生徒の通学路の安全確保のため、関係機関と連携した継続的な交通安全対策の実施を目的に新見市通学路安全推進会議を設置している。

この会議は県、警察、学校、保護者と市が一堂に会して通学路における危険箇所についての情報共有を行い、対応状況について協議するものである。今年度もすでに各小中学校から通学路における危険箇所の報告があり、可能な箇所から随時対応を行っている。現在のところ上市小学校からは注意喚起のための看板や標識の設置やグリーンベルト等の敷設に関する要望は提出されていないが、今月開催予定の通学路安全推進会議の実務者会議で報告し協議していきたい。

危険木伐採補助制度の創設を

問 民有地にある危険木の管理についてどのように認識しているか。

答 民有地にある危険木については樹木の所有者が適切に管理するものと認識している。

問 危険木伐採補助制度を創設する考えはないか。

答 個人が所有する危険木は個人の財産管理であるため現在は考えてない。

問 岡山市の里山における危険木伐採支援制度を参考に制度化できるように調査を。

答 岡山市の事業は認識しているが、現段階では個人で管理をお願いしたい。



林（はやし） 司朗（しろう） 議員

会派 みんなのにいみ

全国で災害多発のなか、新見市の防災力を問う

問 避難所の備蓄品の状況は。

答 段ボールベッド158台、パーテーション308セット、畳マット1086枚など、初動で対応できる数量は備蓄しており、公民館、市民センター、本庁、各支局にも配置している。

問 災害時のトイレ問題に対応するために、トイレトラックの導入の考えは。

答 災害時以外の活用や、維持管理費などの問題はあるが、衛生環境維持や、プライバシー確保に有効な点がある。今後、導入に向けて調査研究する。

問 家庭用防災用品の購入に対する助成金制度の導入についての考えは。

答 家庭用防災用品の購入については、自助で行う防災対策であり、家庭ごとに必要な物品や数量が異なるため、各家庭で購入していただきたい。

問 災害対策は、これで十分ということはない。今後、どのような啓発活動を行っていくのか。

答 災害に強いまちづくりを進めるためには日頃からの防災意識の向上と、一人一人の防災力の底上げが極めて重要である。今後については、自主防災組織と連携を図り、地域住民への効果的な啓発活動を行っていきたい。





峠田（たわだ） 一也（かずや） 議員

新見市の障がい者福祉の充実を図ろう

問 新見市では障害者の就労支援の充実を図るためにどのような施策を行っているか。

答 「ほほえみ広場にいみ」を拠点に相談事業を行い、市内の福祉事業所が参画している「新見市障害者自立支援協議会」の協力を得ながら、ハローワーク新見、障害者就業・生活支援センターとの情報共有を図り就労につながるよう努力している。

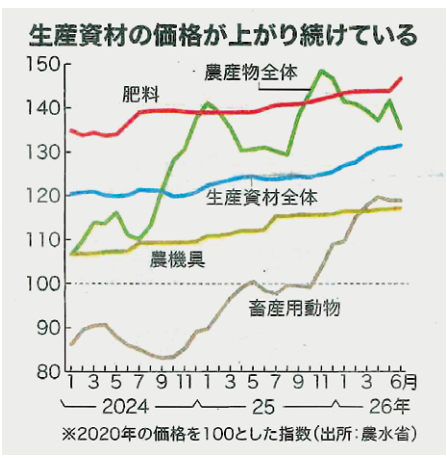
問 国が定める「障害者雇用促進法」の法定雇用率を新見市役所は満たしているか。

答 令和8年6月1日時点での新見市の障害者雇用率は3・38％で法定雇用率の2・8％を満たしている。

新見市の農業を守ろう

問 農業生産資材への物価高騰対策の考えはあるか。

答 JA晴れの国岡山からも支援要望があった。肥料・農薬・飼料などの高騰に対する支援を行ってきたが、資材への影響も大きいことから従来の支援に加えて農業用資材経費も対象に支援を検討している。品目は、水稲・園芸作物・畜産で農家数や作付面積、資材の上昇状況を確認しながら精査している。9月定例会最終日には提案できるようにしたい。



引用：日本農業新聞（2026年8月10日付）



赤木 三郎（あかぎ みつお） 議員

指定ごみ袋の見直しで市民負担の軽減を

問　令和7年度は、プラスチック資源約102トンの分別収集・再資源化に約6900万円を要する一方、指定ごみ袋105万枚を作製し、そのために約29トンものプラスチックを新たに使用している。45リットル袋は作製費が1枚20.9円で、市民への販売価格は50円。この価格は平成17年度の合併当初から変わっておらず、物価上昇により作製費が上がれば、手数料として確保できる額は減少する。

　家庭にある透明・半透明の袋に市指定のシールを貼る方式に変更すれば、新たなプラスチック使用量と制度全体のコストを抑え、市民負担の軽減にもつながれるのではないか。指定ごみ袋制度を見直す考えは。

答　指定ごみ袋は、ごみ処理費用の市民負担や適正排出の意識付けなど、重要な役割を果たしている。シール方式も資源の有効活用や負担軽減の面から一つの考え方と捉えているが、シールの貼付箇所、剥がれやすさ、見えにくさ、袋の強度、シールの管理などの課題があるため、今後、具体的に調査研究したい。



生成 AI により作成

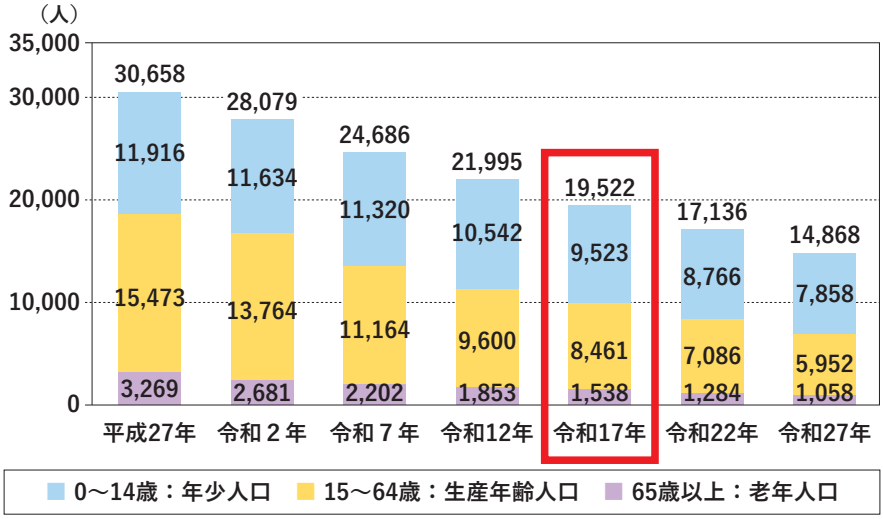


宮本 英基（みやもと ひでき） 議員

限界集落・小規模集落における行政サービスを維持すべき

問　人口減少によって行政サービスの維持が難しくなるのであれば、市民が困ってから対応するのでは遅いと考える。

　道路、水道、ごみ収集、除雪、公共交通について、今後10年間で、どの地域にどのような課題が生じると想定しているのか。課題を整理し、サービスを維持するための具体的な対策を、地域ごとに住民と話し合い、早い段階から相談して、方向性を考え計画を策定する考えはあるか。



本市の将来人口の推計
出典：新見市公共施設等総合管理計画（R5.3 改訂）

答　人口が減少すると、道路維持など専門家の人材不足や水道料など市民の負担金が増加すると想定する。

　早い段階で必要に応じて地域に出向き、地域運営組織とも話をして、住民の意見を聞きながら行政サービスの維持に努める。

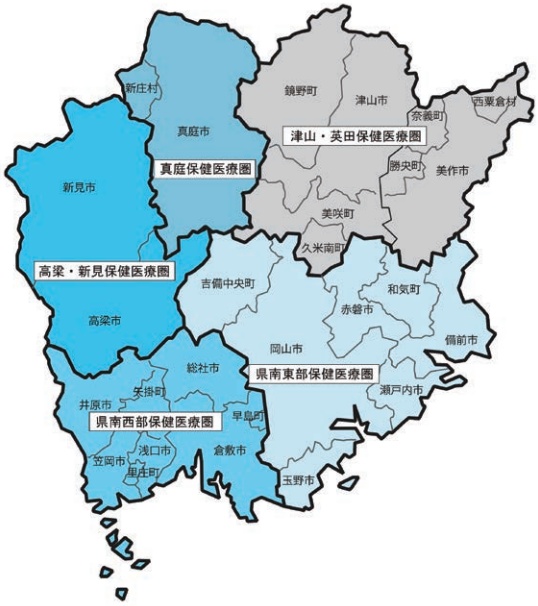


橋本（はしもと） 尚典（なおゆき） 議員
会派 志政会

市民の命を守る「つながる医療」を

問 人口減少と高齢化が進む中、市内ですべての医療を完結させることは難しくなる。大切なのは、市内で受けられない医療があることと、市民が必要な医療を受けられないことを同じにしないことである。市内で確保すべき医療、高梁・新見保健医療圏で補う医療、より広域につなぐ医療を整理し、将来にわたり市民が必要なときに必要な医療を受けられる体制を考える必要がある。あわせて、２０３０年、２０４０年を見据えた医療・介護人材の状況や将来見通しを把握し、市として、関係者と全体を検討する仕組みをつくる考えは。

答 本市だけで完結できない医療は、より広域で対応する。医療・介護人材の具体的な必要数を市独自で算定することは困難だが、医療機関への聞き取りやさまざまなデータを参考に実態把握に努める。医療については県の保健医療計画の中で定められている。今後の医療提供体制については、医療・介護関係者、消防、県、大学等が関わる地域共生社会推進本部の中で協議していく。



岡山県二次保健医療圏設定図
（出典：岡山県ホームページ）



堀江（ほりえ） 裕（ひろし） 議員
会派 志政会

人口減少を見据えた持続可能なまちづくりへ

問 人口減少を前提とした公共施設や社会インフラの再構築の状況は。

答 新見市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の総量や経過年数、利用状況などを把握し、長期的な視点で対応している。今後も将来人口や財政状況を見据え、施設の適正配置や計画的な維持管理に取り組み、財政負担の軽減と必要な公共サービスの継続を両立させながら、持続可能な行政運営を進めていく。

問 スマートシュリンクを活用したまちづくりの検討状況は。

答 人口減少に伴い、行政サービスや公共施設を単に縮小するのではなく、地域の実情に応じて施設や機能の規模を最適化し、必要なサービスを将来へつなぐまちづくりの考え方と認識している。国や全国知事会などの議論や先進自治体の取組も参考にしながら、本市の行財政改革に生かしていく。

問 人口減少を共通の前提とした部局横断的な取組状況は。

答 政策推進課が第３次新見市総合計画に基づく各種施策を全庁的に取りまとめている。地域共生社会推進本部をはじめ、幹部会議、市長・副市長連絡会議、財産活用や観光など個別課題に応じた職員ワーキングチームも運用している。今後も各部局が将来人口や財政状況を共有し、公共施設、公共交通、道路、上下水道、福祉、防災などを横断的に連携させ、総合的で効果的な施策を進めていく。

公共施設 延床面積（㎡）	
新見市	10.96
類似市平均	7.20
道路 実延長（m）	
新見市	44.31
類似市平均	22.64

市民一人あたりの
保有公共物



仲田 芳人（なかだ よしと） 議員

会派 みんなのにいみ

「森のようちえん」前向きに

問 豊かで多様な自然を活かし「森のようちえん」を創らないか。

答 安全管理や指導員確保など課題が多い。豊かな自然の中で五感を働かせ、体験から学ぶことは大変重要だ。提案の新見公立大学との連携の結論は直ぐに出ないが、近隣にない施設で、子育て支援や出生数低下を打破できる一案として、前向きに研究したい。

既存施設活用し屋内型の子どもの遊び場考える

問 危険な暑さが続く中、屋内型の子どもの遊び場整備を。

答 必要性を認識しており、既存施設を視野に、改修整備の対応を考えたい。

貸出制の移動式「赤ちゃんの駅」整備へ

問 他市事例にある移動式「赤ちゃんの駅」の貸し出しを本市も備えては。

答 イベント等での利便性向上に繋がる有効な手段のひとつ。設備や備品等、他市の事例を参考に研究していきたい。

調整官ポスト新設を前向きに検討

問 各課の横串を刺した行政を進めるため、企画調整部門の強化、課長補佐級の調整官ポストの新設を考えてはどうか。

答 多様化する市民ニーズ、新たな行政課題に対応するため、組織再編や調整官ポスト新設を前向きに検討する。



赤ちゃんの駅
ステッカー



小河 俊文（こがわ としふみ） 議員

会派 志政会

定期監査指摘事項について全庁的に改善に取り組む

問 令和7年度の定期監査結果を踏まえた行政事務の適正化についてどのように考えているか。

答 定期監査で指摘された補助金や一者随意契約について、マニュアルの見直しと全庁的な改善を進める。



経営効率化と財政基盤の強化を図り持続可能な水道事業を目指す

問 新見市水道事業経営戦略についての考えは。

答 施設・管路の耐震化を推進し、経営効率化や市民生活への影響を考慮しながら、料金改定を慎重に検討する。



古川（ふるかわ） 英明（ひであき） 議員

会派 みんなのにいみ

新見高校、来年度より「地域みらい留学」参画を検討

問 今後の本市の出生数や現状の進学状況を考えると、国内募集や国内留学にもっと力を入れる必要があると考えるが、市としてどのように検討しているか。

答 市では高校魅力化推進事業の充実をとおして入学者の確保に努めるとともに、市外からの進学者確保強化のため、高校と連携して全国からの募集事業「地域みらい留学」への来年度からの参画を視野に検討している。

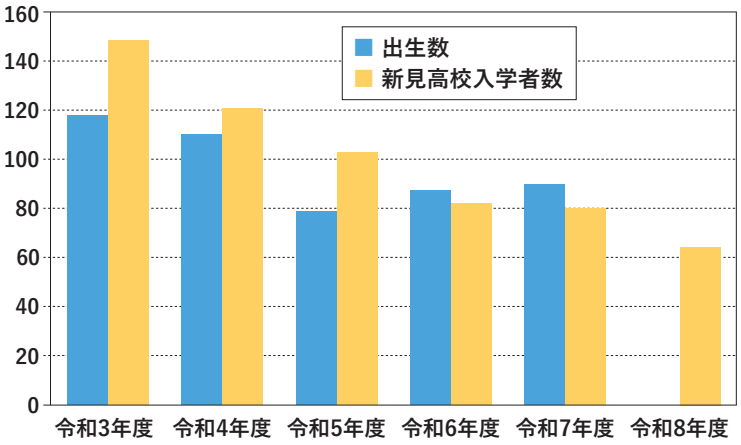
高齢者を対象とする施策の充実を

問 免許返納者や高齢者が購入するシニアカーへの補助制度を新設したらどうか。

答 身近な場所への移動は、住み慣れた地域で生活する上で市としても重要と考えるが、現時点での補助制度は考えていない。

問 この度取り組みが始まった「高齢者等ICT見守り事業」は、行方不明者捜索への対応もできるのか。

答 見守りに加え、捜索位置検索や捜索身元確認ができ、対応できる。行方不明者の早期発見につながると考える。



新見市の出生数と新見高校への入学者数の推移

議員主催で研修会実施!!

10月5日に議員の資質向上を図るため、研修会を実施しました。当日は、地域の自主運営組織や職員の方にも参加いただきました。

■テーマ：「新見市で小規模多機能自治が拡充し続けるために、行政と議会と地域組織に求められる進化～2030年代の人口・世帯構成を見通す～」

■講　師：川北　秀人氏
＊IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所　代表者）





研修会の様子

市民の声

みなさん、こんにちは。「市民の声」コーナーです。担当の木下智義が皆様の元に出向き、インタビュー形式でご意見要望等を伺いました。

今回は50代から70代まで幅広い年代の男女からお話を聞きました。

■「議会だより」の感想は？

・議会だよりの表紙の写真を季節に合わせ選んでいることがわかる。私は関心があるから、毎回読んでいます。文字のサイズを大きくしたり読みやすいように色分けをしたり写真を載せたりして、工夫してあり皆様の努力が伝わってくる。【70代（女性）】

・あまり読んだことがない。中身を見ると文字が色分けしてあり読みやすいし写真やイラストもあり親近感がある。ただ、文章のほとんどが漢字で読みにくい部分もある。専門的な用語が多く知識がある程度ないと読んでもよくわからないと思います。専門用語については、簡単な用語説明があれば良いと思います。【50代(女性)】

・ケーブルテレビや新聞で見たり読んだりしているのであまり読んだことはないです。【50代（男性）】

■市政・議会への要望は？

・市政・議会への要望は特にないですが６年振りに昨年度より駅前での「新見ふるさとまつり」が復活したのは非常に嬉しい。私自身、踊りに毎回参加をしています。【50代（男性）】



盛り上がった新見ふるさとまつり

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見310-3
電話 0867-72-6151
FAX 0867-72-6183

メール
gikai@city.niimi.lg.jp

編集後記

昨年度の若者議会では、高校生や大学生など若い世代の皆さんの思いをお聞かせいただきました。

本年10月の女性議会では、女性の視点からの市政への熱い思いをお聞かせいただきました。市民の皆さんが、それぞれの立場から市政に様々な思いを届けてくださることで、より良い新見市ができていくものと思います。

議会だよりに掲げる「議会が変わればまちが変わる」をモットーに、開かれた議会を目指しこれからも頑張っていきます。

（橋本　亨子）